

事業&活動報告

「フェスタ・お知恵拝借ミーティング」開催報告

千葉市民活動フェスタは、コロナ禍で2年連続オンライン中心の開催となりましたが、事業のあり方を問い直す良い機会だったとも言えます。今年は実行委員会の前に、自由に思いつきや意見を述べる「ブレインストーミング」のような場を設けることになり、6月2日は対面、9日はオンラインで「お知恵拝借ミーティング」が実施されました。その日の意見の一部をご紹介します。



※人員、会場、費用などの制約は一切なく自由に出されたアイデアですので、実施計画に反映するとは限りません。

【会場】

・複数箇所での開催も考えてはどうか(駅の周辺、そごうの

通路、公民館や他施設との連携など)

・パブリックビューイングのようなことはできないか

【会期関連】

・オンラインなら長期間開催、別会場、分散開催も可能

・日替わりの参加とすれば、2倍の団体が参加できる

・11月だけでなく1年の活動の集大成という捉え方で準備を

【内容など】

・参加団体が一緒に参加して楽しめる「何か」があるとよい

・キャラクターは人気だが、輸送や人員の負担は考慮が必要

・クイズラリーなどにスマホ等をうまく活用して工夫を

【その他】

・ハイブリッドは、参加者を増やす決め手となるのでは

・参加しない団体からもスタッフの参加は可能

・広報をもっと前から多面的に行いたい

・今年だけではなく何年か先まで見据えた長期計画を

千葉市まちづくり応援寄附金(愛称:まち寄附)

まち寄附とは、寄附者が対象団体の中から応援したい団体を指定して寄附ができる制度です。ふるさと納税を経由して団体へ寄附することで、寄附者は税控除を受けることができ、団体は寄附を集めやすくなるのが期待されます。



「市内でまちづくり活動を行う団体である」などの一定の要件を満たしていれば登録の対象となりますので、ぜひ登録をご検討ください。

また、登録するメリットや登録方法などについて説明会を実施しますので、興味がある方はご参加ください。

～登録団体募集中!説明会を実施します!～

日時▶第1回2022年8月3日(水) 14:00~15:00

第2回2022年8月7日(日) 14:00~15:00

会場▶千葉市民活動支援センター会議室及びオンライン

定員▶対面参加は20名程度(申込み先着順)

お申込み方法▶千葉市ホームページ

(右のQR)からお申込み

ください。

※お申込み前に、登録の要件については千葉市ホームページにてご確認ください。



千葉市役所市民自治推進課 担当:有水・峯岸

TEL:043-245-5664 Mail:jichi.CIC@city.chiba.lg.jp

ミニコラム

ちばさぽの風 vol.50

声と表情とコミュニケーション

突然ですが、最近、疲れがとれにくくなっているように感じます。睡眠時間は十分とっているのに、年齢的に仕方ないことなのでしょう。ただ、来館者の皆さんに疲れている様子を見せてしまえば、公共施設の職員としては失格なので、勤務中はてきぱき動くようにするなど、ふるまいに気を付けています。

そんな中、夜間のシフト勤務時に電話対応をした際に、相手の方(よく存じている登録団体の方)から「いつもいい声してますね!」と言われたのは、かなりうれしかったです。その時は実際、体力的にかなり疲れていたのですが、一気に疲れが吹き飛びました。

声もそうですが、表情にも注意が必要だと感じた出来事もありました。お誘いがあり、オンラインでの交流イベントにプライベートで参加した時のこと。終了後に誘ってくれた人からメールが届き、「無駄な時間を使わせてしまってごめん。退屈そうな表情をしていたよね...」といったことが書かれていました。決して退屈とは感じていなかったのですが、何かしらの感情が出てしまったのかもしれませんが、もちろん、表情は無理につくるものではないと思いますが、特に対面の、一対一のコミュニケーションの場面では、表情は相手にダイレクトに伝わるので、不快な思いをさせないような配慮は欠かせないなと思いました。

さて、声や表情は大切だということ以上に、声を発することや、表情を出すことが難しい人達もいるということをお忘れはならないでしょう。偉そうな書き方をしましたが、これらはセンターでの仕事を通じて、また市民活動を通じて教えられたことです。例えば、失語症や吃音などの障害・症状により、声を出すこと自体が困難な方や、話し言葉がなめらかでない方もいます。筋ジストロフィーなどの障害により、表情が出せないという方もいます。このように、「見た目にはわかりづらい障害をお持ちの方もいる」ということを知ってから、自分は少しだけ“聴く力”がアップしたような気がしています。(そう思うことにしています。)

一方で、“伝える力”はなかなか向上しません(汗)。いくら明るい声で、豊かな表情で語っても、内容が伴っていないと反応は返ってきませんよね。ということ、特に講座の講師を担当した後、毎回のように感じて自己嫌悪に陥っています…。コミュニケーションは「究めよう」とか「達人になろう」とか思わず、自分らしさを出すのが健全かもしれませんね。(は)

